

# 第10回 六角川水系流域治水協議会 会議資料

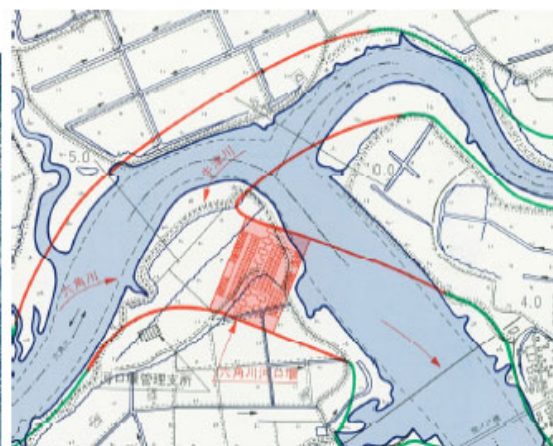
## 議事4 今後、流域で議論すべき課題等について

**令和8年5月22日**

# 六角川と牛津川の合流点監視状況について

# 六角川・牛津川の合流点河川水の流下状況調査

- ・六角川と牛津川の合流点における流下状況調査について、引き続き実施する。
- ・調査はWEBカメラを用い、出水期(6月～9月)に24時間画像撮影を行う。
- ・撮影された画像のなかから洪水時の画像を抽出し、合流点の流下状況を分析する。



河口堰設置前の河道



WEBカメラ設置の状況

- : 雨量観測所
- ▲ : 水位観測所
- : 堰
- : WEBカメラ



# 排水機場の能力強化について

(土地改良事業 佐賀中部地区)



九州農政局  
北部九州土地改良調査管理事務所

# 土地改良事業「佐賀中部地区」の概要

農林水産省では、農業の生産性の向上、農業構造の改善等に資することを目的として、農業生産の基礎となる頭首工、用排水機場、幹線用排水路等の農業用排水施設の整備を行っており、一定規模以上のものは、直轄事業により整備を実施。

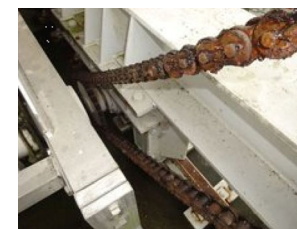
「佐賀中部地区」は、佐賀市及び小城市に広がる約9,600haの農地を対象として、平成2年度～平成22年度により造成されたが、完成後から長期間が経過し、コンクリート構造物のひび割れ等の発生、機械設備の故障・発錆・塗装劣化が進行し、農業用水の安定供給に支障を来すとともに、維持管理に多大な費用・労力を要している。

特に排水機場の劣化が著しく、排水ポンプの水中軸受けの破損による排水不能が生じており、早急に改修する必要。

佐賀市及び小城市に広がる農地が受益



川上頭首工



(川上頭首工)除塵設備の発錆



(用排水路)水門設備の扉体劣化



用水路



友田排水機場

国営  
(5m<sup>3</sup>/s)

市営  
(3m<sup>3</sup>/s)



(排水機場)原動機の固着



(排水機場)ポンプ主軸の発錆・腐食

# 排水能力強化の背景及び能力強化に伴う河川への影響について

施設の老朽化に加え、近年の気候変動に伴う降雨の変化に対応するため、降雨確率の再計算を実施。  
直近40年間のデータを用いて確率降雨(1/30確率)を算出したところ、平地において、過去全期間の降雨データを用いて算出した降雨に比べて降雨量が約13%増加。

これを基に作成した計画基準降雨により排水解析を行ったところ、地域全体で51.9haの湛水被害が発生。  
友田排水機場においては、 $2.4\text{m}^3/\text{s}$ (国営+市営: $8.0\text{m}^3/\text{s}\rightarrow 10.4\text{m}^3/\text{s}$ )の能力強化を図る必要。

一方、能力強化に伴い、上下流域への影響が懸念されることから、運転調整(ポンプ停止)基準の一つである「砥川大橋地点の水位<sup>※1</sup>」に着目し排水解析を実施した結果、排水制限(ポンプ停止)までの時間が約18秒長くなること<sup>※2</sup>、河川のピーク水位が約1.1cm高くなること<sup>※3</sup>を確認。

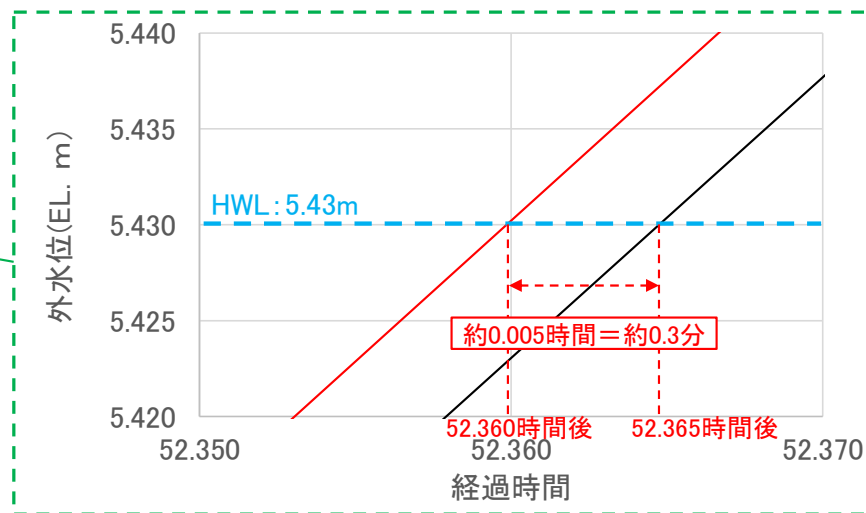
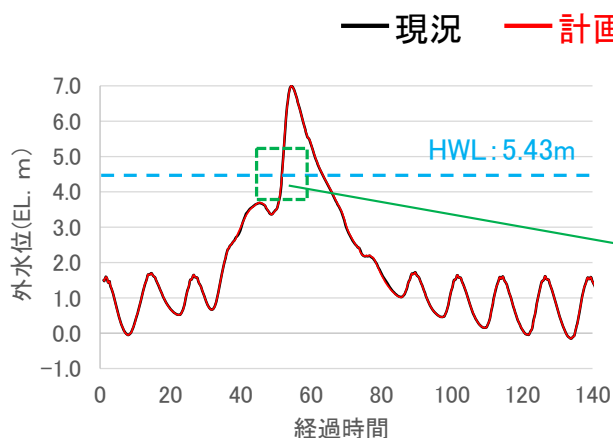
- ※1: 解析は砥川大橋地点近傍の友田排水機場地点の河川水位を対象に実施(砥川大橋地点への水位換算は行っていない)。
- ※2: 令和元年8月の豪雨を基に作成した降雨を用いて解析。
- ※3: 令和2年7月の豪雨を基に作成した降雨を用いて解析。



幹線用水路の溢水状況  
(令和3年8月豪雨)



佐賀市内ほ場の湛水状況  
(令和3年8月豪雨)



洪水時における排水制限時間への影響

# フラップゲートからの逆流防止対策について

事務連絡

令和8年5月8日

多久市 副市長 殿  
武雄市 副市長 殿  
小城市 副市長 殿  
大町町 副町長 殿  
江北町 副町長 殿  
白石町 副町長 殿

国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所  
技術副所長（管理） 工藤 雄一

水閘門操作におけるフラップゲートからの河川水逆流防止対策について（依頼）

日頃から水閘門操作にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

標記については、本年2月以降、フラップゲートの不完全閉塞による河川水の逆流が頻発しているところ、令和8年度水閘門等操作管理委託契約説明会（4月10日開催）にて、下記に掲げる対策の徹底をお願いしています。

一方で、その後も川裏側から流出した木材がフラップゲートに挟まったことによる河川水の逆流が発生しており、また、川裏につながる水路にはフラップゲート不完全閉塞の原因となりうるゴミ等が散見されるなど、非常に憂慮すべき状況にあります。

つきましては、標記について徹底されるよう改めてお願いします。

記

- ・フラッシング時にはフラップゲートの操作は行わない
- ・フラッシング後の上げ潮時の逆流有無確認
- ・水路の適正な維持管理（ゴミ等、発生源の除去）
- ・要因となる木材等の流入対策として水路への網場設置  
（詳細は添付資料「水閘門操作における逆流防止対策について」（令和8年度水閘門等操作管理委託契約説明会資料）を参照）

以上

問合せ先：武雄河川事務所 管理課

電話：0954-23-7934